

2学期の身体測定をしました



本日、身体測定の結果を配付しています。身長がぐんと伸びたお子さんもいて、とても嬉しそうに計る姿が印象的でした。体重が増えすぎても減りすぎても心配です。生活の様子と照らし合わせて、心配事はかかりつけ医に相談することをおすすめします。学校でも相談を受けますので、担任・主事や保健室へ声をかけてください。



災害時に必要な水の量はどれくらい？



大きな地震が起こると、水道管が壊れてしばらく水道が使えなくなることがあります。災害時に備えて、生活に必要な水を備蓄しておきましょう。

飲用水

命を守るための水

必要量

ひとり
1人あたり1日 **3ℓ**
最低でも3日分
(=2ℓペットボトル約5本)

生活用水

手を洗う、トイレを流す、食器を洗う時などに使う水

必要量

あればあるほど良い

いずれも賞味期限の長い2ℓペットボトルを購入し、1年間など期限を決めて保管するのがオススメ。期限が迫ったら飲用・生活用水として利用し、買い替えましょう。



ぜひできるところから
やってみてください

AEDが救った8,000人のいのち



AED(自動体外式除細動器)の使用が一般の人にも解禁されて20年になります。日本は全国に69万台が設置され、多くの場所で見られるようになりました。学校にも、職員室と中学部棟

の2か所にあります。(必要な物品と一緒にかごに入れて置いています)

これまでにAEDを使用したおかげで8千人のいのちが救われました。AEDの設置とともに、どのように使うか学んだ人が多くいたからです。幼児向けの雑誌の付録に紙製のAED模型が登場し話題になるほどAEDは日本に住む人にとって身近な存在になりました。AEDについて分かりやすい教材を紹介します。(右のQRコード)よろしければご覧ください。



「おともだちが突然たおれたら…どうしたらいいかな?AEDを知っていますか?(小学校向け)」日本スポーツ振興センター(お役立ちコンテンツ・教材カード)